

図画工作

発行者の番号 略称			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
9	開隆堂出版	開隆堂 ◆	図工 101・102 301・302 501・502	A 4 336	平成31年
116	日本文教出版	日 文 ◆	図工 103・104 303・304 503・504	A 4 386	

※ 「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

校 種	視覚障害特別支援学校	聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校
<p>児童の実態</p> <p>観点</p>	<p>・両眼の視力がおおむね0.3未満又は視力以外の視機能障害が高度で、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度である。</p>	<p>・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。</p>	<p>・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。</p> <p>・慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。</p>
<p>内容の取扱い等</p>	<p>1 障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等</p> <p>2 障害への配慮を要する内容等</p>	<p>・視覚以外の感覚（触覚や全身の皮膚感覚、音を聞き分けたり等）を活用して表現するもの。</p> <p>・言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。</p> <p>・安全への配慮から、道具等の取扱いに困難が想定されるもの。</p>	<p>・色や形の構成など視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。</p> <p>・言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。</p> <p>・言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。</p> <p>・アレルギー疾患等に関わる配慮が必要なもの。</p>
<p>構成上の工夫</p>	<p>障害の状態に応じた事項、その他</p> <p>・文字・図版が鮮明であるもの。</p>	<p>・聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。</p>	<p>・体験の不足等を補えるように、図版が鮮明で理解しやすいもの。</p> <p>・ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。</p>

小学部 図画工作(視覚障害特別支援学校)

発行者の番号 略称		開隆堂	日文
内	表現の題材数	16 最少	23 最多
	造形遊びをする活動	16 最少	23 最多
	絵に表す	49 最多	44 最少
	立体に表す	13 最少	26 最多
	工作に表す	41 最多	30 最少
	共同してつくりだす活動	16 最多	8 最少
	「鑑賞」の題材数	6 最少	11 最多
	「鑑賞」学習用の資料のページ数	34 最少	58 最多
	作品等の数	1523 最少	1970 最多
	表現・鑑賞活動の過程、表現技法、材料、用具の扱いについて具体的に示した箇所のあるページ数	182 最少	266 最多
容	児童が、形や色などの造形的な特徴をとらえたり考えたりすることを具体的に示した箇所のあるページ数	69 最少	162 最多
	児童が、自分のイメージをもつことを具体的に示した箇所のあるページ数	58 最少	152 最多
	視覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚以外の感覚(触覚や全身の皮膚感覚、音を聞き分けたり等)を活用して表現するもの。	59箇所 ①3・4年上「さわってわくわく」では、様々な材料に触れ、感触から表現したいことを見つける活動が示してある。(P38)	70箇所 ①1・2年下「音づくりフレンズ」では、制作した楽器を鳴らして、音を聞く活動が示してある。(P30)
視覚障害への配慮を要する内容等について ①絵画等の鑑賞などを通して表現する活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。 ②安全への配慮から、道具等の取扱いに困難が想定されるもの。	54箇所 ①5・6年上「比べてみよう」では、作品の似ているところや違っているところを見て考える活動があり、配慮を要する。(P30) ②5・6年下「わたしはデザイナー12歳の力」では、電動糸のこぎり、のこぎり、きり、金づちを使う活動があり、安全面で配慮を要する。(P40)	69箇所 ①5・6年下「ここから見ると」では、場所の奥行きを使って楽しく見える物を作る活動があり、配慮を要する。(P12) ②5・6年上「でこぼこの絵」では、木材を電動糸のこぎり、彫刻刀で加工する活動があり、安全面で配慮を要する。(P32)	
構成上の工夫	ふりがな	初出有	初出有
	解説文等がついている作品数	41	57
	折り込みページの箇所数	6箇所	6箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①文字・図版が鮮明であるもの。	①5・6年上「心をひらいて」では、見開きで作品を掲載してある。(P6)	①1・2年上「かきたいものなあに」では、背景にイラストや模様が少ないため、コントラストが鮮明である。(P10)
	②安全への配慮箇所数	38箇所	107箇所

小学部 図画工作(聴覚障害特別支援学校)

発行者		開隆堂	日文	
内	表現の題材数	造形遊びをする活動 16 最少	23 最多	
	内容別	絵に表す	49 最多	44 最少
		立体に表す	13 最少	26 最多
		工作に表す	41 最多	30 最少
		共同してつくりだす活動	16 最多	8 最少
		「鑑賞」の題材数	6 最少	11 最多
	「鑑賞」学習用の資料のページ数	34 最少	58 最多	
	作品等の数	1523 最少	1970 最多	
	表現・鑑賞活動の過程、表現技法、材料、用具の扱いについて具体的に示した箇所のあるページ数	182 最少	266 最多	
	児童が、形や色などの造形的な特徴をとらえたり考えたりすることを具体的に示した箇所のあるページ数	69 最少	162 最多	
児童が、自分のイメージをもつことを具体的に示した箇所のあるページ数	58 最少	152 最多		
容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①色や形の構成など視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。	9箇所 ①1、2年下「見つけたよ、わたしの色水」では、インクや絵の具を水に混ぜることで、様々な色水をつくる活動が示してある。(P24)	8箇所 ①1、2年上「いろいろななかたちのかみから」では、切り取った後の紙の形から思い付いたことを表現する活動が示してある。(P30)	
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	2箇所 ①3、4年下「絵から聞こえる音」は、絵画を鑑賞して、音をイメージし、音を形や色で表現する題材であり、配慮を要する。(P36)	4箇所 ①1、2年下「音づくりフレンズ」では、音を意識しながら楽器をつくる活動のため、配慮を要する。(P30)	
構成上の工夫	ふりがな	初出有	初出有	
	解説文等がついている作品数	41	57	
	折り込みページの箇所数	6箇所	6箇所	
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①5・6年下「わたしはデザイナー12さいの力」では、制作する手順に沿って、児童が制作している写真を示してある。(P40、41) ・巻末に「学びの資料」として学習した内容が、写真やイラストとともに説明文でまとめられている。(P50～56)	①3・4年下「つなぐんぐん」では、制作過程の写真が示してある。(P24) ・5・6年下「ここから見ると」では、様々な場所での作品の写真とともに、活動内容の説明が示してある。(P12)	
	②安全への配慮箇所数	38箇所	107箇所	

小学部 図画工作(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者		開隆堂	日文
内	表現の題材数	16 最少	23 最多
	造形遊びをする活動	16 最少	23 最多
	絵に表す	49 最多	44 最少
	立体に表す	13 最少	26 最多
	工作に表す	41 最多	30 最少
	共同してつくりだす活動	16 最多	8 最少
	「鑑賞」の題材数	6 最少	11 最多
	「鑑賞」学習用の資料のページ数	34 最少	58 最多
	作品等の数	1523 最少	1970 最多
	表現・鑑賞活動の過程、表現技法、材料、用具の扱いについて具体的に示した箇所のあるページ数	182 最少	266 最多
容	児童が、形や色などの造形的な特徴をとらえたり考えたりすることを具体的に示した箇所のあるページ数	69 最少	162 最多
	児童が、自分のイメージをもつことを具体的に示した箇所のあるページ数	58 最少	152 最多
	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、実際に表現できる内容が示されているもの。	28箇所 ①5・6年上「進め！ ローラー大ぼうけん」では、ローラーに様々な素材を巻き付けるなどして、版画で表現する活動が示してある。(P34)	19箇所 ①1・2年上「でこぼこ ほっけん！」では、紙粘土を身の回りの様々なでこぼこに押し付けることで、模様を形成できる活動が示してある。(P42)
	肢体不自由・病弱の配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。	41箇所 ①3・4年下「かみわざ！ 小物入れ」では、平面の紙に、切れ目を入れたり折り目を付けたりと、立体の箱を作る活動があり、配慮を要する。(P20) ②3・4年下「どろどろかっちゃん」では、手で直接触れて活動する場面があり、配慮を要する。(P24)	11箇所 ①3・4年下「つなぐんぐん」では、広告紙を細く筒状に丸めたり、輪ゴムで束ねていくなどの手指の巧緻性や上腕の操作性が必要となるため、配慮を要する。(P24) ②5・6年下「自然を感じるすてきな場所で」では、実際に木の葉や植物などに触れる活動があり、配慮を要する。(P22)
	ふりがな	初出有	初出有
	解説文等がついている作品数	41	57
構成上の工夫	折り込みページの箇所数	6箇所	6箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①体験の不足等を補えるように、図版が鮮明で理解がしやすいもの。 ②ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの	①5・6年下「龍を見る」では、ページのほぼ全面に作品の写真が示してある。(P31) ②ほぼ全ての単元が見開きで構成されている。	①3・4年上「くぎうち トントン」では、金づちで釘を素材に打ち付ける様子や作品の写真が、見開きのページのほぼ全面に示してある。(P32) ②ほぼ全ての単元が見開きで構成されている。
	③安全への配慮箇所数	38箇所	107箇所